

「新潟市にふさわしい小中一貫した教育」についての基本的な考え方（改訂版）

○新潟市にふさわしい小中一貫した教育

新潟市では、「新潟市にふさわしい小中一貫した教育」と題し、各中学校区の地域特性や教育環境、課題を踏まえて小・中学校の連続性を図り、地域特性をより生かしたり、教育課題解決に向かったりしていきたいと考えています。

そのために、小・中学校教育を通じて育む「目指す子どもの姿」を設定し、その実現に向けて「4つの共通プログラム」と「独自プログラム」に取り組んでほしいと考えています。

※「4つの共通プログラム」とは、「9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間」「9年間を見通した学習の仕方」「小中一貫合同研修会」「中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会」を言います。また「独自プログラム」は、上記の「4つの共通プログラム」以外で、今までに各中学校区で取り組んできた教育活動や今後実施したい教育活動などを言います。

○ 目指す子どもの姿

「目指す子どもの姿」の設定は、小中一貫した教育の柱です。その設定は、小・中学校においてどのように地域特性を生かすか、また教育課題解決の方向性を示すことであり、小中一貫した教育の導入の意義でもあります。そこで、まずは、この「目指す子どもの姿」は小・中学校職員で話し合い、どのようなことを目指していくのか、また小中一貫した教育の取組を通じてどのようなことができるのかという観点で設定してほしいと考えています。

○ 4つの共通プログラム

(1) 9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間

「目指す子どもの姿」を達成するために中核となる学習活動です。なぜ、生活科・総合的な学習の時間なのかと言うと、「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」を掲げてきた新潟市にとっては、地域との繋がりを重視した学習活動が多く、またある程度学習内容や方法を学校の裁量で編成し、実践できるのが生活科・総合的な学習の時間であることによります。どのような学習活動で、どのような資質・能力を育成することを通じて、「目指す子どもの姿」を達成するのか、小・中学校職員で検討してほしいと考えています。

(2) 9年間を見通した学習の仕方

子どもたちが見通しを持って取り組むことができるように、また保護者と連携しながら取り組むことができるように、学習の仕方を考えてください。その際、新潟市教育委員会リーフレット『新潟市の授業づくり』『新潟市の家庭学習』を参照してください。

(3) 小中一貫合同研修会

上記の「目指す子どもの姿」の設定や共通プログラム(1)(2)について、小・中学校職員で検討してください。それを「小中一貫合同研修会」と位置付けています。また、この他に

「目指す子どもの姿」の達成のために必要な研修を行っても構いません。

(4) 中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会

上記の「目指す子どもの姿」の設定や共通プログラム(1)(2)(3)の内容を、保護者・地域の方々に理解いただくとともに、総合的な学習の時間における地域との連携活動をより進めたり、家庭学習をより充実させるための意見をいただいたりします。現在行っている地域の方々との会議に位置付けても構いません。

○ 独自プログラム

今までに小学校と中学校が連携してきた取組を生かし、「目指す子どもの姿」を達成するための取組や、中学校区における教育課題を解決するために必要な取組を計画実施してください。

○ その他

「新潟市にふさわしい小中一貫した教育」では、今までに行ってきた取組の更なる充実を図るとともに、各中学校区の地域特性や小・中学校教育の独自性・主体性を大切にしたいと考えています。

是非、「新潟市にふさわしい小中一貫した教育」を通じて、小・中学校職員の気持ちを一つにしてほしいと願っています。そして、9年間において子どもたちの良さを引き継ぎ、褒めたり励ましたりする機会を増やすことにより、子どもたちの自己肯定感を高め、各校の教育活動が一層高まってほしいと願っています。